

平成23年度事業計画

【方針】

広島県内の将来有望な事業アイデアを有する起業家等を発掘・育成し、地域経済の活性化に貢献する。

【事業内容】

1 事業アイデアを有する起業家等に対する助成金の交付

新規性・独創性のある技術やビジネスプラン等を持つ広島県内の将来有望な法人または個人に対して助成を行う。

区分	概要
助成対象	<p>広島県内に主たる事業所（事務所）を置くか、あるいは広島県内在住の新規性・独創性のある技術やビジネスプラン等を持つ、創業前又は創業後研究開発段階にある将来有望な法人（第二創業含む）・個人で次の要件に該当すること</p> <p>（法人） 創業・設立から7年未満、または前年度売上高が10億円以下 子会社（会社法上）の場合、親会社が上記の要件に該当すること 特定非営利活動法人（NPO）でないこと</p> <p>（個人） 創業前および創業から7年未満、または前年度売上高が10億円以下</p>
助成内容	<p>ひろしまベンチャー大賞(法人・個人)300万円(1先程度×2回) ひろしまベンチャーエコ特別賞(法人・個人)100万円(1先程度×2回) ひろしまベンチャー奨励賞(法人)100万円～200万円(3先程度×2回) ひろしまベンチャー育成賞(個人)50万円～100万円(3先程度×2回) ひろしまヤングベンチャー賞(学生)5万円～10万円(5～7先程度×1回)</p>
助成条件	<p>助成金受領後は起業及び事業化を目指して中小・ベンチャー企業支援機関（団体）の継続的な指導を受けること 但し、ひろしまヤングベンチャー賞受賞者は大学等の教育機関の指導も可とする</p>
募集回数	年2回、但し、ひろしまヤングベンチャー賞の募集は年1回下半期に実施
募集方法	公募方式
選考方法	審査委員会において書類審査及び面接審査により選考し、（ひろしまヤングベンチャー賞は、一般審査とは区別して書類審査及び面接審査により選考）理事会で最終決定する

2 起業家と支援者との交流事業

助成先の事業化支援並びに助成先と支援者及び助成先同士の相互理解・深耕による事業意欲の高揚を目的とした「成果報告会」・「交流会」の実施。

他団体が行う商談会や交流会等への参加機会の提供による事業化支援の実施。

3 起業化・事業化を促進するための普及・支援事業

大学等との連携による学生の起業家マインドの醸成を図る。

中小・ベンチャー企業支援機関との連携による起業化・事業化のサポートを図る。

4 その他必要な事業

協賛企業等の拡充活動

助成事業等のPR活動

【23年度事業スケジュール】

時期	助成金交付事業		交流事業・その他
	募集・審査・贈呈式	評議員会・理事会	
23年4月		第1回理事会 (22年度事業報告・収支決算等)	第16回助成先の支援機関紹介
5月		定時評議員会 (22年度事業報告・収支決算等)	↓
6月	第17回助成先募集		
7月	↓		第8回成果報告会・交流会の開催
8月	助成先選考(一次書類審査)		
9月	助成先選考(二次面接審査)	第2回理事会 (助成先の選定等)	協賛企業への平成24年度協賛依頼
10月	第17回助成金贈呈式	評議員へ書面報告 (助成先の選定等)	
11月	第18回助成先募集(学生枠含む)		第17回助成先の支援機関紹介
12月	↓		↓
24年1月	助成先選考(一次書類審査) 助成先「学生枠」選考(面接審査)		
2月	助成先選考(二次面接審査)	第3回理事会 (助成先の選定、24年度事業計画・ 収支予算等)	↓
3月	第18回助成金贈呈式 (学生と審査委員の意見交換会)	評議員へ書面報告 (助成先の選定、24年度事業計画・ 収支予算等)	

理事会及び評議員会は、臨時開催若しくは定款の定めにより決議の省略を行なう場合もある。